

（午前9時30分 開議）

○議長（中西峰雄君）おはようございます。
ただ今の出席議員数は23人で定足数に達しております。

○議長（中西峰雄君）これより本日の会議を開きます。

この際、報告いたします。市長から平成22年2月12日付、橋総第137号をもって追加議案18件が送付されました。次に、議員松浦君ほか13人から平成22年2月9日付をもって議案1件が提出されました。議案はお手元に配付いたしております。これを今会期中にご審議願うことといたします。

以上で報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中西峰雄君）これより日程に入り、日程第1 会議録署名議員の指名 を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において12番 辻本君、17番 山田君の2人を指名いたします。

日程第2 一般質問

○議長（中西峰雄君）日程第2 一般質問 を行います。

今回の一般質問の通告者は15人です。
質問は会議規則第62条の規定により、別紙の順序により発言を許します。

順番1、7番 中谷和史君。

〔7番（中谷和史君）登壇〕

○7番（中谷和史君）おはようございます。
議長のお許しをいただきましたので、トップバッターということで一般質問を始めさせ

ていただきたいと思います。

大きく教育委員会の方針並びに市民への周知方法についての件と、河南地域及び国城山周辺の観光整備についての2項目で質問させていただきます。

1点目といたしまして、教育委員会の考える幼小中、教育行政の施設整備の方針とめざすべき教育方針及び市民皆さまへの周知不足に対する認識についてお伺いいたします。

当初の通告書には6項目ほどあったわけですが、勘違いということで2項目ほど削除させていただきました。

以下、読み上げさせていただきます。

学校校舎及び各教育施設耐震補強整備計画について、どのような準備をなされているかお伺いいたします。

あやの台の小学校の建設が突然発表されましたが、どのような経緯で計画が進んでいたのかお伺いいたします。

教育委員会は、小中一貫教育を標榜していますが、今後めざすべき教育方針についてお伺いいたします。

その他、一貫した方針があるのかないのか、市民皆さまへの広報及び周知が不足していると思いますが、その認識についてお伺いいたします。

通告書に従いますと、概ねこのような質問ですが、もちろん個々についてご回答いただきますが、何よりもお伺いしたいのは、大項目と最後の、教育委員会として一貫した方針があるのかないのか、市民皆さまへの広報及び周知が不足していると思いますが、その認識がおありであるのかどうか、このところをお伺いしたいと思います。

私だけかもしれませんが、我々議員が、突

然の方針発表でいろんな施策、方針がなぜか小出しに出てくるなという印象を持つぐらいでありますから、一般市民にとっては寝耳に水の話ばかりだと思います。一貫教育を標榜されながら、説明は一貫していないのではないかと思うのは私だけでしょうか。確固たる信念と長期の方針をお持ちであるならば、一連の流れとして早くから打ち出し、市民皆さまへの説明を行うべきであり、「百万人といえども我行かん」の覚悟を持って頑張っていたきたいと思いますので、あえてお伺いいたします。

2点目といたしまして、河南地域の観光整備の方針、並びに国城山周辺の観光及び防災整備計画についてお伺いいたします。

2点目も小項目の一部の表現に不備があり、当初の通告書を変更させていただいております。

以下、通告書に従い質問させていただきます。

南海跨道橋が形として現れてきましたが、左岸道路の整備進捗状況及び今後の見通しについてお伺いいたします。

その道路整備に関連して、観光施設等の整備方針についてお伺いいたします。

国城山周辺が、身近なハイキングコースとして入山者が増加しているように思いますが、遊歩道や展望タワーの設置など、観光施設の整備計画や誘客広報などの計画についてお伺いいたします。

地元の皆さまが植樹など随分力を入れていただいておりますが、担当部局との連携についてお伺いいたします。

入山者の増加とともに火災等の危険も増えてくると思いますが、防火施設の整備について方策をお伺いいたします。

以上、お伺いいたしまして1回目の質問といたします。前向きで誠意のあるご答弁を期

待いたします。よろしくお願いいたします。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君の一般質問に対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（森本國昭君）登壇〕

○教育長（森本國昭君）皆さん、おはようございます。

中谷和史議員のご質問にお答えをいたします。

最初に、学校をはじめとする各教育施設の耐震補強整備についてお答えをいたします。

まず、学校施設では、平成18年度に国の地震防災緊急事業5カ年計画が示され、平成20年度には、さらに補助金のかさ上げ措置がとられるようになりました。本市はこの優遇措置を受けるため積極的に耐震診断等を行い、構造耐震指標であるI s値の低い施設については、平成24年度までに年次計画を立て、耐震補強工事を終えようと計画しているところでございます。

また、社会教育施設につきましては、他の施設に比べ特に利用者数が多く、利用頻度の高い教育文化会館を優先して耐震診断を行い、平成22年度に耐震補強工事を実施していく予定でございます。

次に、あやの台小学校の建設についてでございますが、あやの台地区の入居者数の増加とともに、あやの台地区児童が年々増加してきており、隅田小学校の受け入れ教室が限度に達しようとしております。現在、プレハブ教室を2棟設置し、増加していく児童数に対応しているところでございます。しかし、今後も学級が増えることが予想され、教室の不足が生じてくると考えております。小学校の敷地面積も狭いため、これ以上のプレハブ設置は場所もなく、また、教育環境を考えると適切であるとは言えません。この問題の解決を図るためにも、あやの台小学校の建設を計

画するに至りました。

また、あやの台地区の宅地造成事業に係る開発協議において、橋本市と南海電気鉄道株式会社との間で、教育施設に関する覚書が交わされております。覚書の内容は、小学校と中学校の建設用地を南海電気鉄道株式会社が確保し、橋本市へ無償譲渡すること。また橋本市は、南海電気鉄道株式会社が開発する地域に入居する児童生徒に係る義務教育施設について、必要な措置をするものとする、とうたわれております。

以上のように、教育委員会といたしましては、今日まで隅田小学校児童数の推移をプレハブ設置により対応してまいりましたが、4年後にはさまざまな状況を勘案した中で、平成25年4月、あやの台小学校の開校が必要であると考えております。

3点目、4点目の、教育委員会は小中一貫教育を標榜していますが、今後めざすべき教育方針についてどう考えているか。また、市民への広報及び周知が不足していると思うが、どうか、とのおただしについてお答えいたします。

教育委員会では、生涯学習の視点に立ち、市民がともに育ち合う「共育のまちづくり」をめざしており、その目的実現に向かって施策を行ってきております。その点についての特色ある施策として、学校教育分野では、子どもたちが知、徳、体のバランスのとれた総合的な人間力を身につけられるよう、幼児教育の充実と幼少の連携、小中一貫教育を推進するとともに、学校が核となって地域コミュニティづくりを推進してまいります。

また、社会教育分野では、乳幼児期からの子育て親育ち支援を福祉と連携して進めること、生涯スポーツの充実、そして公民館等が核となり、地域の住民が必要とする課題についての講座や教室の開設、サークル活動の活

性化を図ってまいります。

これら教育委員会の方針や施策については、ご指摘いただいたようにもっと広報・周知に努めるべきであると認識しております。現在は、各園・学校、教育委員会のホームページ等の更新に努めておりますが、今後さらに市の広報など、多様な方法で市民の皆さまにご理解いただけるよう説明して、広報・周知に努めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）消防長。

〔消防長（森 正克君）登壇〕

○消防長（森 正克君）国城山周辺について、5点目の防火施設の整備についてのご質問にお答えします。

国城山周辺の消防水利については、ため池を主要水利として対応しております。道路から離れたため池の場合、可搬式小型ポンプを搬送して水利部署し、消防ポンプ車に中継送水をして消火活動を行います。

国城山付近は水利状況としては十分とは言えず、防火水槽設置について地元から強い要望も出されていますが、現状は住宅火災に対応した整備を優先に取り組んでいるところで、今後、整備計画を策定する中で、要望の取り扱いについて検討してまいりたいと考えております。

山林火災の防火対策として、昨年11月に国城山周辺において消防本部と地元消防団合同により、山林火災を想定した遠距離中継送水による放水訓練を実施しました。

日頃の防火、予防対策としまして、毎年春の火災予防運動行事の一環として職員による山林パトロールを実施し、地水利の把握や山火事防火看板の設置等、防火広報に努めておりますので、ご理解のほどよろしく願います。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

〔経済部長（山本重男君）登壇〕

○経済部長（山本重男君）はじめに、左岸農道の進捗状況及び今後の見通しについてお答えいたします。

広域営農団地農道紀の川左岸地区につきましては、総延長1万7,986m、幅員7.0から6.5mで計画・施工されています。このうち、1万499mにつきましては、平成21年度末で工事が完了する予定であり、進捗率は58.4%になります。また、橋本市域内につきましては、延長4,458mで、実施済延長が2,488mとなり、工事進捗率は55.8%であります。

今後の見通しということですが、政権交代により、事業仕分けの中で農道整備は廃止となった経緯があり、農業農村整備事業の中でも優先度は下位になると聞いております。

紀の川左岸地区は、県営広域営農団地農道整備事業と地域再生基盤強化交付金事業で採択され、この中で、広域営農団地農道整備事業第4期地区が未採択であり、この区間2,700mについては事業採択の見通しが難しいため、別事業で計画の必要性があると県の説明でありました。

なお、左岸農道と国道371号線を接続する市道清水西畑幹線は、平成22年度で南海跨線橋及び農道との接続工事と、市道清水池の内線に接続する支線部分の残工事の施工を予定しております。

次に、左岸道路の道路整備に関連した観光施設等の整備方針についてお答えいたします。

紀の川南岸に位置する国城山山頂からは東西に流れる紀の川を見渡せ、橋本市を一望できる位置にあり、ふもとの橋本高野橋から徒歩で約1時間のハイキングコースとして年々人気が高くなっています。近年、山頂付近にある国城神社周辺は、地元住民が中心となった「プロムナード国城」により、畑ごんぼづ

くりや桜の植樹、菜の花ロードなどの里山づくりに取り組まれています。

橋本市といたしましては、国城山ハイキングコースの整備やコース沿いにある日本一のへら竿の里・隠れ谷池の周辺整備を計画しており、市民グループと行政が協力して地域づくりに取り組んでいます。

次に、観光施設の整備計画や誘客広報についてのおただしにつきましては、平成21年度から2カ年にわたり国の緊急雇用創出特別基金活用事業により、国城山周辺の遊歩道の倒木処理や景観保護のための間伐等をシルバー人材センターに委託して、ハイキングコースの整備に努めています。

また、橋本市観光協会でも、平成22年度において市内観光地のハイキングマップが作成される予定であり、従来のガイドよりさらに充実した散策コースが詳しく紹介されるなど、国城山ハイキングの手引書としても活用されるものと期待しています。

市といたしましても、南海電鉄が主催して今年11月23日に実施する、紀伊清水駅から学文路を経由して九度山までのハイキングコースなどのイベントに協力する中で、新しいハイキングマップを配布して、大阪からの日帰り観光を大いにアピールしたいと考えております。

展望タワーの設置についてでございますが、西畑地域からは紀の川流域や市北部一帯を見渡せる絶好の場所であり、展望タワー設置の必要性は低いものと考えております。なお、簡易的な展望所につきましては調査研究してまいりたいと考えます。

また、道の駅構想につきましては、平成20年9月議会で答弁させていただきましたとおり、将来構想といたしましては、左岸道路の見通しが立った時点で整備の検討をしてまいりたいと考えております。

次に、植樹などの事業についての担当部局との連携についてお答えいたします。

河南地区の皆さまには、紀の国森づくり税を財源とした紀の国森づくり基金活用事業、そして、緑の募金事業に取り組んでいただいております。平成20年度には、西畑区の皆さまにその二つの事業に取り組んでいただいております。里山の整備やサルスベリの植樹を行っていただきました。また、平成21年度には、西畑区、清水区、ふるさとサークル学文路、学文路だんじり保存会の皆さまに、緑の募金事業に取り組んでいただいております。

二つの事業とも農林振興課が窓口になり、事業の紹介や申請方法等について助言をさせていただきます。今後もこれらの事業を活用して、緑化推進等に取り組んでまいりたいと考えております。地球温暖化防止、環境保護のためにも、森林や緑の持つ役割は大変大きなものがありますので、今後とも地元の皆さまと連携をとりながら林業振興に努めてまいります。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君、再質問ありますか。

7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）それでは若干再質問させていただきます。

まず、教育委員会のほうに行かせていただきますと、それぞれの施策は本当に信念に基づかれてきっちり出されていると。そして、我々議員のほうは、ある程度お伺いしてよくわかっているわけでありまして。また、詳しくはホームページにもいろいろと載っておるなということもある程度わかっておるんですけども、それは途中から出てくる施策というものもあるわけでありまして、何かこう、一貫性のとれた説明が十分なされていないような気がします。

一つ例を挙げますと、一貫教育の話をして

いるときの住民説明会をしているときに、小学校の耐震の問題を一緒に出してみたりとか、あるいはそれによって住民が動き始めると、明確に、耐震のためにも橋本中学校の敷地へ橋本小学校を移転しますということをはっきり打ち出せば、それほど問題にもならないのではないかなというふうに思うんですけども、その辺の、議員であっていろいろわかる部分が、多分住民の皆さんには十分わかっていないのではないかなというふうに思うのでありますけれども、そのあたりの教育長の見解を再度お伺いしたいと思います。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）小中一貫教育の説明をする中で、もちろん耐震の関係の広報やらホームページで発表しておりますので、そういった話が出ます。そういった中で説明をさせてもらっておるわけですが、今、議員おただしのように、じっとその辺のところを説明すべきだということをございます。そのとおりでございまして、教育委員会としましてはできるだけ早く、24年度までに完結したいということで取り組ませてもらっておりますけれども、一応、今のところ耐震の関係で言いますと、21年度、22年度の取り組みが現状で決まっておるということで、23年度、24年度、教育委員会としてはそういうことで耐震の関係の1次診断、2次診断を終わっての処理していかなければならない施設の耐震計画というのはあります。

そういう中で、もちろん小中一貫の説明は十分させてもらっておるんですけども、耐震のところもございまして、小中一貫を早く進めたいという話も中ではさせてもらっておりますので、その辺のところについては、住民説明の中でいろんな話が及ぶ中では説明はさせていただきますので、今後とも、そういった住民あるいはPTAの会合等にも

出かけていきまして、十分、2次診断が終わった段階でも、説明を必要とする学校については出かけていくという考えでおります。

以上です。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）個別のことはよろしいんですけども、出される順序というのか、なんかふっと思いつきで、いや実は校舎が危ないんです、小中一貫の話で皆さん寄っていただいているときに、いや実はもう非常に危ないんですという言い方で出る。公表はしておるんだから、それはそれでわかっているやろうという前提で、多分教育委員会のほうはおられたと思うんですけども、せっかくなにかをやろうとしていながら、出し方が非常にまずいという認識というか、私のほうも、もうちょっと上手にやってくれたらなど。同じ施策を同じように出すにしても、やっていただいたらなど。

同じように、あやの台の小学校にしましても、すみだの幼保一元の施設にしましても、これは用地の取得の関係もあるので、秘密にしておく必要もあったとは思うんですけども、ぼんとう出ると。特に、PTA中心にする関係者に対する周知を、根回しという言葉はおかしいですけども、十分きちっとされたら、毎回文教厚生委員会で問題になるような大きな騒ぎとか、そういうようなことがかなり軽減できる、あるいは教育委員会がやりたいと思っておられる施策が十分やれるのではないかなというふうに思います。

そのところなんですけれども、認識をいただいているのかなと。ですから、要望になってしまうのかわからんですけども、今後、PTA並びにほかへのきちとした出し方をお願いしたいなと思っておりますが、再度よろしく願いいたします。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）あやの台の件につきましても、隅田の小学校のPTAの皆さんにも説明をさせていただく機会を持たせてもらいました。そして、それは今役員だけでございますが、その辺のところの事情がよくわかってないという正直な話でございますので、この前、隅田小学校のほうへ出かけていきまして、役員さんに1時間半ほどそういった話をさせていただきまして、まだ納得できない部分はあるにしても、計画的にそういうことで、今、施設については隅田小学校については飽和状態でありますので、そういったあやの台の開校というのを考えていかなければならないということを説明はさせていただきました。そして、今後もそういったところで、隅田小学校のそういった説明の中で、教育委員会の考え方というのを十分説明させていただきたいと思っております。

それと、できるだけ橋本小学校と、小中一貫の関係でも、機会を数多く持たせてもらって説明をさせてもらっておるんですが、どうも我々の説明する機会と、それから保護者についてもそういった機会を聞いていただくように、PTAの総会等もあわせて何回となしに説明をさせてもらう機会は持たせてもらっておるんですけども、どうしても集まりが少ないという現状も確かにありますので、そういったところで難しさは感じておりますけれども、今後一層広報には努めてまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ぜひそのようにお願いしたいなど。情報というか、ご連絡は行き過ぎても別に構わないと思うので、説明を十分していただきたいなど。

それで、何を心配しておるかといいますと、今後、適正化配置の委員会が、もう答申が出

ると思いますけれども、今回質問に入れていても、答申が出るまでという話になると思うので入れなかったんですけども、それによって、また方針を決められるというふうに思うわけです。また同じような、二転三転とまでは言いませんけれども、若干ぶれるような説明の出方がすると非常に困るのではないかとということで、今回の質問になっておるわけでありませう。

広報はしもとをちょっと調べてみましたけれども、小中一貫につきましても出ていない。一年間ほとんど広報として出ていない。あるいは、この前から、いつの間にか幼小連携やという話も出てまいりました。これなどもいつ頃からの発想なのかという、その点もお伺いしたいと思います。

○議長（中西峰雄君）教育長。

○教育長（森本國昭君）教育委員会の「人が育ち合う共育のまちづくり」ということが中心にめざして頑張っておるわけですが、幼児小連携するということははじめからうたっております。小中一貫と幼児小、また子育てだけではなしに親育ちということも十分やっていきたいということは、以前から言わせていただいておりますので、ご理解をいただきたいと思ひます。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）以前からきちっと文書で出ておるようでありましたら、私の勉強不足ということでおわび申し上げたいと思ひます。

ただ、一般にとりましては、やはり、また次の言葉が出てきたなど、キャッチフレーズが出てきたなどというとらえ方になっておりますので、まず一貫教育の話、それから幼小連携されるのであれば幼小連携の話と、きちっと住民に説明できるようにやっていたきたい。

それで、そういう長期的目標に基づく確固たる、この前、文教厚生委員会の視察にも行かせていただきましたけれども、やはり教育委員会がきちっと方針を持って、確固たる信念に基づいてぶれない方針で、間違えたらどうか、結果どないもならんかったら、それは当然そういう方針を打ち出した方が責任をとるよという覚悟のもとで、そちらの視察に行かせていただいた市のほうはやっておられました。私どもの橋本市におきましても、ぜひそのようにお願いしたいなということで要望にさせていただきます。ぜひ頑張ってやっていただきたいということで、よろしくお伺いいたします。

続きまして、防災の関係で、さっきご答弁いただきましたので、確かに住宅のための防火水槽等が優先順位出てくると思ひますので、国城山山頂の防火水槽についてはちょっと難しいかなと思ひますけれども、ぜひ市長のご決断で予算をたくさんつけていただいて、新市長に期待したいなというふうに思ひわけでありませうけれども、住宅優先で、まず優先順位がちょっと動くということであれば、その間の防火についての広報というのが大事になってくると思ひます。具体的に、今年は看板をこのぐらい設置するんやとかというような話がありましたら、ちょっとお聞かせいただけたらありがたいと思ひます。

○議長（中西峰雄君）消防長。

○消防長（森 正克君）防火看板につきましては、北側の和泉山脈がありまして、そちらのほうは阪和林野消防協議会というのがございます。そこから配付されました防火看板、だいたい100枚程度ございますが、そのうちから分けて、こちらの南のほうの山のほうにも、それでまたうちのほうで、ちょっと森林組合から予算をいただきまして、補助を受けまして、それによって橋本消防独自の看板をつく

りまして、両方の山に設置しております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ぜひ山林火災の防火に努めるような看板の設置等をよろしくお願いたしたいなど。この前の防火訓練でも、7台の消防車、消防ポンプをつないでいただいて、非常に短時間で、実際30分ぐらいでつないでいただいて、動き出してから5分ぐらいで放水できたと思うんですけども、そうは言いますが、やはり30分というのは非常に長い時間でございますので、ぜひ何とかよろしくお願いたしたいなどというふうに思います。

続きまして、左岸農道につきましては、本当に政権が変わりまして非常に難しい部分が出てきてるかなとは思いますが、ぜひ地元と一緒に経済部が応援してやっていただいて、何とか実現していけるようにお願いたしたいなどというふうに思います。

そんな中で、言っていただきましたように、本当に観光客が結構増えてきておる。あるいは身近なハイキングコースとして、本当に言っていたように、整備していけば非常にいい施設、いいスポットになっていくかなというふうに思います。観光協会等を使って観光マップ等を出していきたいということのお話をいただきましたけれども、だいたいどのような範囲でどのような媒体で出そうというふうな方向でおられるのか、ちょっとお答えいただきたいと思います。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）観光マップの範囲でございますが、橋本市には多くの観光名所がございます。例えば、杉尾の、紀の川の音がする石だとか、それからやどり地域の観光、それから一本杉ハイキング、いろいろございますが、それに合わせて、市内一円の範囲を考えております。

（「どの広報」と呼ぶ者あり）

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）配布につきましては、11月の23日に、まず南海電鉄主催のハイキングがございますので、そこで市のほうから、観光協会のほうからこのマップを配布したいというふうに。それから、観光案内所にも備え付けて、皆さまにお配りしたいというふうに考えております。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）11月23日といったらまだ一年ほど先の話やし、国城山の祭に合わせたイベントやと思うんですけども、それこそホームページで出されてるんやろうとは思いますが、もっと東京や大阪やと、近隣へ広報していくよという答弁いただきましたんですけど、その辺はいかがでしょうか。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）橋本市、県内というんですか、そういうところは出していかねばいけないと考えておりますが、県外につきましては一応協議をさせていただきます、できるだけ配布できるような形をとっていきたいというふうに思っております。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）よろしくお願いたします。あまりやる気がなさそうなど言ったら怒られるけど、どうも中途半端やなという気がいたします。

それで、こういう観光、今後、新市長どなたということもありますけれども、やどりの施設、これはもう次の橋本市の目玉になるのは間違いない。国城山周辺からについて、そういう観光客をいかにそっちへ引っ張っていくかということがこれから重要になってくる。その時に宣伝が、そういう何ていうか、とりあえずマップつくって、配ったらしまいたいな形の広告では、非常に集客というのは難

しいと思います。

私ら商売人という感覚から言いますと、例えば、奈良の葛城山からこっちに向けて、高天原の昔からの伝説がございます。そこには役行者の物語、その役行者がここの杉尾の不動岩をこさえたというようなところの話。国城山におきましては、何度も言いますけれども、日本の最初の征夷大將軍の坂上田村麻呂の話が物語としてあります。向副のほうへ行きますと織田秀信の墓がある。そのようなことの一連の歴史、応其商人ももちろんそうです。その辺の一連の一つの物語として観光行政というのは考えやんと、市長のご実家のほうにも弘法大師が逗留したというお話もあるわけですから、そこら観光担当の部局がどこまでご存じなのか。そのところを私は非常に心配するわけでありまして。

その辺のところをしっかりと調べていただいて、今インターネットで広報するときは、一つの商品を売るにしても、この商品はどういう歴史があってどういう流れでこんな商品になりました、高いけれどもこれはこういう物語がついています。買って下さい、というのが一番売れるパターンなんです。観光にしましても、橋本市はこうこうこうで、こういう流れの中で、こういう位置付けのこういうものですよと。高野山だけが決して歴史の表舞台ではなくて、本当に橋本市というのは非常に豊富な歴史遺産がありますので、九度山に決して負けることのない、引けをとることのない、あると思いますので、そこらちょっと、経済部長は3月でという話ですが、最後にきちっと職員に指示しておくよということのご決意をいただけたらありがたいなと。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）ありがとうございます。

橋本市には、いろんなさまざまな歴史、文

化がございます。今現在は点で結ばれているというような状況でございますが、これから点を線にして、また面にして考えていきたいと。それをするために、より一層勉強させていただきまして、橋本市の観光を活性化させていきたいというふうに考えます。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ぜひよろしくお願ひしたいと思います。本当にいろんな歴史があります。しゃべり出したらとまらんですけれど、隅田八幡にしてもいろいろありますし、まあそういうところで。

実は、国城山のほうに話を戻しますと、展望タワーについてはなかなか設置難しいよと。西畑のほうからよう見えるよというご答弁をいただいたわけでありましてけれども、大きな展望タワーと私は書いているわけではございませんので、ご答弁いただいたときに想定された規模というのは、それは難しいよと想定された規模というのはどんなものか、いっぺんお答えいただきたいと思います。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）先ほどご答弁させていただきまして展望タワーの必要性ということでございますが、私が想定していた展望台というのは、高野口地区にあります、庚申山にあります、ああいう大きな展望タワーを想定しておりました。

以上です。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）ありがとうございます。

一度、国城山の山頂、神社の横から上へ登る道がありますので、山頂へいっぺん登ってください。2mか3m、ちょっと台を置いてあるだけで、非常に高野山から360度パノラマになります。今のところ、木が非常に低いので、台風で飛んでから低木しか生えてませんので、非常にすばらしい見晴らしになっています。

年末の知事の県政報告会のときにも、地元からぜひ渡り鳥の見に来てくださいということで、知事も行きたいというような話もしておられました。そんなに何百万円も何千万円もかかるような施設をお願いしておるわけでもなくて、地元としたら本当に二、三m、まあ言うたら、台へ上れる程度の展望台というのをつくっていただいたら、本当に市民の皆さん、ハイキングの皆さんの、宗教施設ですので真上は無理ですけど、ちょっとオフセットするだけで、そこにまた水神さんとか、ちょっと変わったほこらもありますので、それも観光スポットになるかなというふうに思うんですけど、いかがでしょう。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）ただ今のご質問でございますが、私が想定しておりました展望タワーというのは、高野口にあるロザリオンのような、ああいう大きなものを想定しておりました。それで、先ほどもご答弁させていただきましたように、簡易的なそういった小さな展望所につきましては、地元の方々と協議する中で、また、予算も伴うことでございますので、そういった活用できる事業があるかないかということも調査させていただきまして、検討を加えていきたいというふうに考えております。

○議長（中西峰雄君）7番 中谷和史君。

○7番（中谷和史君）あえて展望台ということを行いましたのは、市が何もせんのに県がひょっとしたら望遠鏡を先に持って行ってくれるかもしれやんという、コイン望遠鏡ですね、そういう話も地元でちょっと聞きましたので、それを何か地面の上につけても、あまりもう一つやなど。やっぱりどうせならひとつ台をつけて、橋本市も観光に力を入れてるんやという姿勢を見せていただけたらよろしいなというふうなところでございます。ぜひ

一回、部長、上へ、てっぺんへ登っていただいて、さらに、神社よりまだ上に登っていただく道がありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

また、周辺の道の駅につきましては、前回の答弁のとおりということで切られてしまいましたですけれども、これも地元のほうはずっと考えておるとのことの中で、脈々と生かしておいていただきたい。そして、ぜひある時期に、それこそやどりのオープン等々に間に合えばよろしいなと思うんですけれども、あるいは高野山への道がつながったときということになるんかわかりませんが、ぜひよろしくお願ひしたいなということを要望いたしまして、質問を終わりたいと思います。

以上です。

○議長（中西峰雄君）これをもって、7番 中谷和史君の一般質問は終わりました。